

木造住宅の耐震診断報告書

平成〇年〇月〇日

川西金太郎様

事務所名

名称 ○○○○建築事務所

代表者名 ○○○○○

登録番号 (一級) 第000000号

電話番号

0000-00-0000

簡易耐震診断員

受講証番号

第 号

診断員名

○○○○

印

印

あなたのご自宅を耐震診断いたしました。結果は次のとおりです。
 なお、この報告書は調査時点での診断状況ですので、その後の経年劣化に対しては十分な維持管理をお願いします。

総合評点	評点内容	項目	評点	項目	評点
0.70		A. 地盤・基礎	1.00	D. 筋違	1.00
	B. 建物の形状	1.00	E. 壁の割合	0.70	
	C. 壁の配置	1.00	F. 老朽度	1.00	

総合評点は上欄のA×B×C×D×E×Fの計算結果となっています。

総合 の 合 め 評 や 点 す	1.5以上	安全です
	1.0以上～1.5未満	一応安全です
	0.7以上～1.0未満	やや危険です
	0.7未満	倒壊または大破壊の危険があります

この診断結果について、不明な点、又はお聞きになりたいことがございましたら、診断者までお問い合わせ下さい。

所見:
今回貴邸を診断しました結果、「やや危険です」と判断されました。
総合評点を下げた原因としては、E項目の「壁の割合」において評点が低いことが挙げられます。
「壁の割合」とは建坪あたりどれほどの壁があるかによって判断するもので、貴邸の場合X方向(東西方向)の壁量が不足しているといえます。これは現在開口部となっている箇所を耐力壁にしたり、壁を追加したりすることによって解決できます。
貴邸には筋違が入っていないようですが、筋違を入れることは非常に効果的な補強方法ですのでぜひご検討ください。
現地調査の結果、基礎の床下換気口にヘアークラックが見られました。現況では耐震性に影響を及ぼすものではないと考えられますが、ひび割れが大きくなるようでしたら補修を検討下さい。
耐力壁が上下階でズレている個所があります(1階和室6帖部分)。現況では建物に影響がでていないようでしたが、梁にたわみが生じやすいので留意して頂きたいと思います。
貴邸は比較的良好に維持管理されており、今後とも健全な建物を維持して頂くためにも修繕・改装等の際には、壁・筋違の追加による耐震性の向上について建築士にご相談いただくことをお勧め致します。